

日本天文学会 2007 年秋季年会のお知らせ

2007 年秋季年会は、2007 年 9 月 26 日（水）から 28 日（金）までの 3 日間、岐阜大学（岐阜市）にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の第 100 巻 9 月号（2007 年 8 月 20 日発行）に掲載予定です。

(1) 料金表

項目	会 員	非会員	
参加費	3,000 円（不課税） （但し会員で講演ありの場合、参加費は無料）	5,000 円（消費税込み）	
講演登録費	3,000 円（不課税）	5,000 円（消費税込み）	（1 講演につき）
年会予稿集	1,000 円（消費税込み）	1,000 円（消費税込み）	

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※領収書が必要な方は、必ず、参加費用支払い時にお申し出下さい。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても講演登録費を支払う必要があります。

(2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	送付先・連絡先等	関連項目
講演申込	（郵 送）	2007 年 6 月 25 日（月）必着	日本天文学会年会係 （3）（4） （5）（6）
	（電子メール）	2007 年 6 月 12 日（火）正午から 2007 年 6 月 26 日（火）正午まで ^{（注1）}	
複数講演の順序指定	2007 年 7 月 2 日（月）正午まで	年会実行委員会	（7）
ポストデッドライン・ペーパー	2007 年 9 月 13 日（木）まで	年会実行委員会	（8）
最新情報コーナー	年会会期中まで	年会実行委員会	（9）
保育室の利用申込	2007 年 8 月 23 日（木）まで	年会実行委員（保育室担当）	（10）
講演の変更など	分かった時点ですぐに	年会実行委員会	（11）
各種の会合申込	2007 年 8 月 23 日（木）まで	年会開催地理事	（12）
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2007 年 6 月 1 日（金）まで	年会実行委員会	（13）
懇親会の会期前申込	2007 年 9 月 18 日（火）まで	「（14）懇親会と参加申し込みについて」参照	
旅費一部補助	2007 年 7 月 20 日（金）必着	本号「旅費補助について」参照	
ジュニアセッション講演申込	2007 年 9 月 13 日（木）必着	本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照	

（注 1）電子メールの自動受付は 6 月 27 日（水）午前 9 時までに行いますが、6 月 26 日（火）正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として 6 月 26 日（火）正午までに投稿して下さい。

連絡先

◆年会実行委員会 委員長 中本泰史（年会理事・東京工業大学）

e-mail: committee2007@nenkai.asj.or.jp 電話: 03-5734-3535 FAX: 03-5734-3538

◆日本天文学会年会係 長谷川直子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

e-mail: committee2007@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487

◆年会開催地理事 高羽 浩（開催地理事・岐阜大学）

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学

e-mail: takaba@gifu-u.ac.jp 電話: 058-293-2478 FAX: 058-230-1891

年会開催期間（2007年9月26日～28日）の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。
 年会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- 講演分野は次の15分野です。
 - J. 高密度星, K. 超新星爆発, L. 太陽系, M. 太陽, N. 恒星, P. 星・惑星形成, Q. 星間現象, R. 銀河,
 - S. 活動銀河核, T. 銀河団, U. 宇宙論, V. 地上観測機器, W. 飛翔体観測機器, X. 銀河形成, Y. 天文教育・その他
- 「企画セッション」は次の3件です。
 - A. 「プラズマ宇宙物理」(天文学会, 物理学会, 地球電磁気・地球惑星圏学会 [SGEPSS] 共催セッション)
 世話人: 松元亮治 (千葉大学), 柴田一成 (京都大学), 工藤哲洋 (国立天文台), 中本泰史 (東京工業大学)
 - B. 「高精度多波長観測と理論による銀河系の包括的研究」
 世話人: 郷田直輝 (国立天文台), 鶴 剛 (京都大学), 和田桂一 (国立天文台), 辻本拓司 (国立天文台), 本間希樹 (国立天文台)
 - C. 「第一世代天体の形成」
 世話人: 吉田直紀 (名古屋大学), 青木和光 (国立天文台), 大向一行 (国立天文台), 須佐 元 (甲南大学), 野本憲一 (東京大学)
- 企画セッションは、世話人から依頼される講演と通常の講演、議論の時間などから構成され、その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申し込みを行い、世話人は年会へまとめて講演申し込みをします。tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し、講演申し込みの際には世話人からの指示に従って下さい。世話人の指示と異なる講演形式を選ぶことはできません。
- A. 「プラズマ宇宙物理」は、天文学会、物理学会、SGEPSSとの共催セッションです。物理学会とSGEPSSの会員が本セッションで講演する場合は天文学会正会員と同格と見なします。参加費・講演登録費は天文学会正会員と同じになります。両学会の会員であっても本セッションで講演しない場合には、非会員としての参加費が必要になります。不明な点は、「プラズマ宇宙物理」セッション世話人もしくは年会実行委員会までお問い合わせ下さい。

(4) キーワード

- 分野のあとにキーワードを記入してください。プログラム編成の参考にします。
 - 特に以下の分野については、「推奨キーワード」の中からも該当するものを選んでキーワードの先頭に入れて下さい。
 - 観測機器分野（地上・飛翔体）で、関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入して下さい。
- ◎推奨キーワード

高密度星	: 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化
超新星爆発	: 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸
太陽	: 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
恒星	: 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動
銀河	: 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河
銀河形成	: 銀河進化, 化学進化
地上観測機器	: 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー γ 線, 宇宙線
飛翔体観測機器	: 電波, 赤外線, 可視光, X線, γ 線, 重力波

(5) 講演の形式

- (a) 口頭講演 (9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); (b) ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと3分

間の口頭発表); (c) ポスター講演・口頭発表なし (ポスターのみ) の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。なお (a) 講演で講演者となれるのは、年会全体で1人1講演までです。

- 口頭での発表は、オーバーヘッドプロジェクター (OHP) または液晶プロジェクターを使用して下さい。(b) 講演では OHP を使用することを推奨しています。
- ポスター1枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。(通常は縦180cm, 横90cmです。)

(6) 講演の申し込み方法

◆郵送による申し込みの場合

- 規定の原稿用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送り下さい。
- 規定の原稿用紙は必要枚数と送付先を明記の上、e-mail または FAX で天文学会年会係まで請求して下さい。

◆電子メールによる申し込みの場合

- 年会の Web ページに掲載します。

※講演は完成度の高いものに限り、予稿の紙面を有効利用して下さい。予稿集は広範な読者が読むことを想定し、(i) 十分な背景説明を行うこと、(ii) 研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心がけて下さい。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿になるはずですが、以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは、受理しない場合があります。

※予稿集は事前配布となっており、2007年8月20日付で発行する予定です。年会の Web ページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもあり得ます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際には、十分ご注意願います。

◆注意: 講演者は氏名の欄で○をつけて下さい (必ずしも筆頭著者でなくても結構です)。講演登録費はこの講演者が支払って下さい。

(7) 複数講演の順序指定

- プロジェクト等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申し込み後、期限内に下記1, 2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡下さい。

1. 受付番号 (分野, 発表形式を含む番号), 2. 講演者名

- (b) 講演は3つ一括りが原則です。3つに満たない場合は、最初か最後に並べて下さい。また、ご希望に沿えない場合もありますのでご承知おき下さい。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- PDL は、緊急性・トピックス性に富んだものに限り、約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由 (個人的理由は不可) が必要です。通常の申し込みよりも受理の基準がかなり厳しくなります。
- 年会の申し込み締め切り後、9月13日 (木) まで受け付けます。上記の理由を添えて予稿原稿を年会実行委員会宛に送付して下さい。
- PDL の講演方法は、(b) ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと3分間の口頭発表)、または (c) ポスター講演・口頭発表無し (ポスターのみ) です。ただし、プログラムに余裕がない場合は (c) 講演になります。

(9) 最新情報コーナー

- 最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDL より緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。ただし、予稿集等には掲載されません。
- 発表の形式はポスターのみです。スペースがなくなれば、受け付けを終了します。

(10) 天文学会会期中の保育室

- 保育室を設置する予定です。詳細は、年会の Web ページに掲載しています。不明な点は年会実行委員 (保育室担当) へ e-mail (hoiku2007@nenkai.asj.or.jp) でお問い合わせ下さい。

(11) 講演のキャンセルや変更

- やむを得ず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、その理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。プログラム公開後は、講演番号もあわせてお知らせ下さい。
- ※講演のキャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立て下さい。

(12) 年会時の各種会合

- 会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会開催地理事までご連絡下さい。会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯に限ります。
- 申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承下さい。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

- 多くの会員が関心を持つ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、会員の多くが興味を持つテーマについて、講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員長までご相談下さい。

(14) 懇親会と参加申し込みについて

- 懇親会は、2日目夜に岐阜大学生協第二食堂にて開催予定です。
会費は天文学会員かどうかにかかわらず、会期前申し込みの場合は一般 4,500 円、学生 3,000 円、年会当日申し込みの場合は、一般 5,000 円、学生 3,500 円の予定です。ただし当日券は枚数を限定し、なくなり次第販売を終了する予定です。
- 会期前申し込みの締め切りは9月18日(火)です。後日 tennet 等でお知らせする web ページか、ハガキで申し込んで下さい。ハガキでの申込の場合、氏名、連絡先(できれば e-mail アドレスも)、一般/学生の区分を明記して下さい。ハガキでの申込先は、年会開催地理事です。(9月18日までに必着のこと。)
- 懇親会の開催準備のため、参加者数を早めに把握する必要があります。懇親会に参加希望の方は、できるだけ会期前申し込みをご利用下さい。

中本泰史 (年会実行委員長)

ジュニアセッションのお知らせ

天文学会の秋季年会(2007年9月26~28日,岐阜大学)におけるジュニアセッションでは、ポスター発表のみ募集します。天文学や宇宙に関係する研究ならなんでも発表することができます。日頃の観測やクラブ活動の中間報告など、是非、発表を申し込んでください。

◆発表を申し込める人

- 小学生(高学年)、中学生、高校生、高専生(1~3年)など10歳台の方。高校卒業後は1年以内まで。
- 連絡には主に電子メールを使いますので、できる限り電子メールが使える方を代表者にしてください。ただし、電子メールが使えない場合には個別に対応しますので、下の問い合わせ先までご連絡ください。
- 著者名は生徒のみとしてください。

◆発表の内容

- 天文学や宇宙に関係する研究。(高専4年次以上および大学で行った学習や研究は除きます。)

◆申し込みの方法とその受理

- 発表の申し込みは、9月13日(木)まで受け付けます。ただし、発表の可能性がある場合には、できる限り

6月26日(火)までに、ジュニアセッション実行委員長にお知らせください(ポスターボードの準備のため)。

- 申し込みは、ジュニアセッションのウェブサイトから行ってください。インターネットにアクセスできることと、電子メールが使えることが必要です。インターネットにアクセスできない場合や、電子メールが使えない場合には、印刷したものを郵送して申し込むこともできます。郵送で申し込みを行う場合には、下の問い合わせ先までご連絡ください。
- ウェブサイトから発表の申し込みを送ると、必ず受信確認がメールで届きます。もし、確認メールが来ない場合には、再度申し込みをしていただくか、下記の問い合わせ先までお知らせください。
- 申し込まれた講演については、ジュニアセッション実行委員会で審査をし、受け付けるかどうかを申込者にお知らせします。
- 講演申し込みが受け付けられた場合は、発表内容をA4で2ページにまとめた予稿を作成していただきます。これは、2008年春のジュニアセッション予稿集に印刷されます。
- 予稿につきましても、ジュニアセッション実行委員会で審査をします。

◆参加についてのご注意

- 年会会場まで来られない場合は、ポスターを送っていただくだけでも結構です。
- ポスター掲示用のボードの大きさは、縦180cm×横90cmを予定しています。
- ジュニアセッションだけに参加する場合は、年会の参加費や講演登録費をお支払いいただく必要はありません。年会受付で、ジュニアセッションのみに参加することを申し出てください。
- 生徒の方は、そのまま通常のセッションを聴講しても構いません。(一般の方がジュニアセッション以外のセッションを聴講される場合には、参加費をお支払いください。)

◆問い合わせ

- ジュニアセッションのWebは、日本天文学会のウェブサイト<http://www.asj.or.jp/>からジュニアセッションをクリックしてください。
- ジュニアセッションについての情報や過去の発表内容につきましては、ジュニアセッションのウェブサイトに掲載されています。(日本惑星協会のウェブサイト<http://www.planetary.or.jp/>にも、一部の発表が掲載されています。)
- ご質問やご相談は、下記の実行委員や世話人、またはジュニアセッション実行委員長まで、お問い合わせください。実行委員や世話人の連絡先は、ジュニアセッションのウェブサイトに掲載されています。発表内容等についても、お気軽にご相談ください。

◆ジュニアセッション実行委員および世話人

実行委員:

吉川 真, 鈴木文二, 永井智哉, 西村昌能, 松本直記, 室井恭子

世話人:

縣 秀彦, 有本淳一, 大西浩次, 小野智子, 石川直美, 篠原秀雄, 高橋典嗣, 谷川智康, 内藤博之,
長谷川直子, 山岡 均, 渡部潤一

※問い合わせ先

ジュニアセッション実行委員会 委員長 吉川 真 (ISAS/JAXA)

TEL & FAX 042-759-8341

e-mail: makoto@isas.jaxa.jp

住 所: 〒229-8510 相模原市由野台3-1-1 宇宙航空研究開発機構

日本天文学会旅費補助について

日本天文学会では、正会員（学生）の年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、該当する申込締切日までに下記の用紙（学会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/asj/forms.html> からダウンロードできます）に記入の上、郵送か FAX で申請して下さい。なお確認のため、氏名・所属を明記の上申請書を送った旨のメールを学会事務所 (jimu@asj.or.jp) へお送り下さい。

応募資格は、講演者（ポスター講演も含む）であり、天文学会の正会員のうち学生に対する割引会費が適用されていて、かつ正式な給与を受けていない人に限ります（日本学術振興会の特別研究員等は、補助対象外です）。

1. 旅費は、年会会場でお渡しますので、印鑑をご持参の上、年会会場受付までお越し下さい。年会終了後にはお渡しできませんので、ご注意下さい。
2. 補助金支給の決定については、特に連絡しません。
3. 本用紙をコピーしてご使用下さい。
4. 申請先

郵送：〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会
FAX: 0422-31-5487

締 切 春季年会：1月20日・秋季年会：7月20日 必着

なお、電子メールでの申請は受付けていません。

不明な点は、学会事務所にお尋ね下さい (TEL 0422-31-1359)。

.....キリトリセン.....

年会旅費補助申請書

年 月 日

(社)日本天文学会 理事長様

(ふりがな)

申請者氏名 _____

会員番号 _____

所 属 _____

E-mail _____

講演受付番号 _____

出 発 地 _____

講 演 題 名 _____

指導教官所属・職・氏名

(自筆署名) _____